

Daileo

D - S L K

シルキーバスポンプユニット



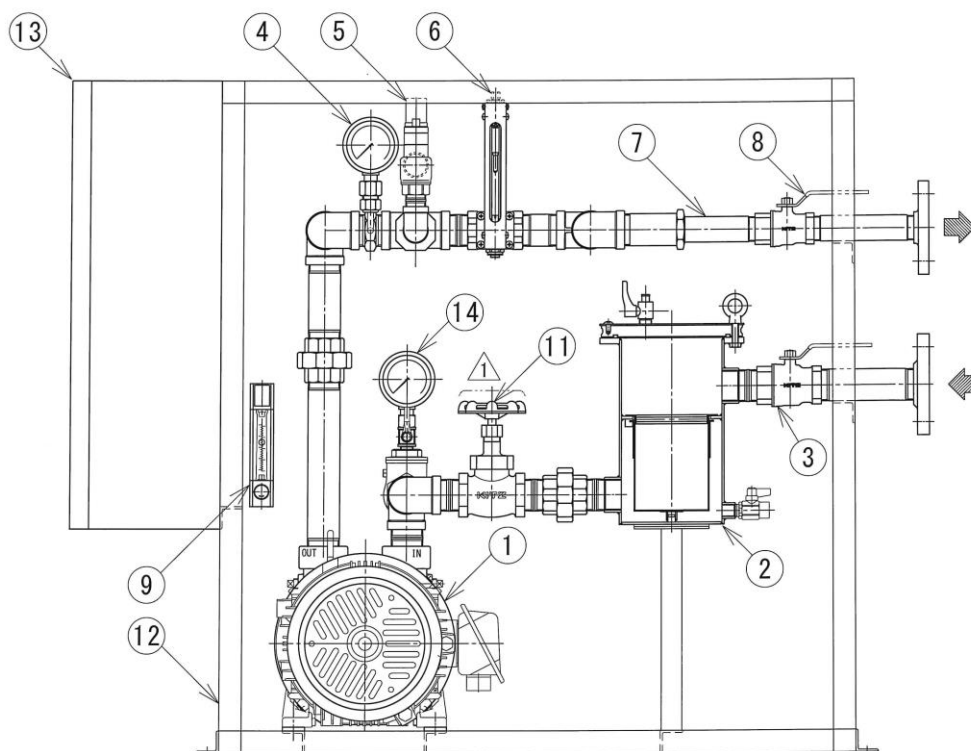
取扱説明書

2020年06月22日改定

(株)ダイレオ
Daileo
<http://www.daileo.co.jp>

■ 大阪本社 〒546-0012 大阪市東住吉区中野4-17-3
TEL.06-6769-7731 FAX.06-6769-7732
■ 東京支店 〒110-0003 東京都台東区根岸5-12-10
TEL.03-5824-7626 FAX.03-5824-7627
■ 名古屋支店 〒454-0904 愛知県名古屋市中川区八田本町18-2
TEL.052-352-4171 FAX.052-352-4172

I. D-S L K 取扱い説明と機能



①	シルキーバス用ポンプ	⑧	仕切弁
②	ヘアーキャッチャー	⑨	エアークローム計
③	仕切弁	⑩	
④	圧力計	⑪	流量調整弁
⑤	リリーフ弁(安全弁)	⑫	フレイム
⑥	吐出用流量計	⑬	専用制御盤
⑦	ラインミキサー	⑭	連成計

使用条件

最高使用圧力 7.5kg/cm² リリーフ弁の設定圧力 8~9kg/cm²
 エアークローム計 3~5L/min

機能

浴槽内のお湯に微細な気泡を混合して、お風呂を白くするシルキーバスポンプユニットです。シルキーバスポンプユニットの運転は、⑬専用制御盤のスイッチを自動運転に回して使用した場合、浴槽内の水位がない状態で運転を防止する為に、濾過器と連携させポンプの空運転を防止していますので、誤って運転をした場合でも、安全にご使用して頂けます。

他の機器との連動がない場合は手動での運転になります。

浴槽の水位やバルブの開け忘れの無いように確認後に運転を開始下さい。

シルキーバスユニット内には、シルキーバス専用の②ヘアーキャッチャーを搭載していますので、定期的な清掃は必要になります。清掃が不十分では、流量不足や、ポンプの過負荷などの原因になりますので定期的に清掃をお願い致します。

②ヘアーキャッチャーの清掃時は、⑬専用制御盤のスイッチを切にして③と⑧仕切弁を閉めてから清掃をお願い致します。

②ヘアーキャッチャーの清掃後は必ず、③と⑧仕切弁は元の状態に開けてから、⑬専用制御盤のスイッチを自動または手動にして運転して下さい。

II 運転時の手順

※ 試運転を行う前に必ず確認をして下さい。

- ・③と⑧仕切弁は開になっている事を確認。
 - ・②ヘアーキャッチャー内に水が入っているかの確認。
 - ・②ヘアーキャッチャー内に水がない場合は、③と⑧仕切弁を閉めて、満水まで水を入れてから蓋を閉めて、③と⑧仕切弁を開ける。
 - ・②ヘアーキャッチャー内に空気が貯まっている場合は、蓋にあるバルブで空気を抜く事ができます。
 - ・確認後に⑬制御盤のスイッチを自動もしくは手動にして運転が開始します。
 - ・運転後は④圧力計の圧力が適正範囲内かを確認、0.8MPa(0.9MPaもあり)以上になると⑤リリース弁から圧力が逃げる仕組みになっています。⑤リリース弁から圧力が逃げるような場合は、圧力に異常があると考えられます。運転を停止してからバルブの開け忘れがないかの確認と浴槽内のノズルの内部の詰まりが考えられますので、確認と清掃をして下さい。
 - ・運転開始 20 秒後にエアーの電動弁が自動で開きます。⑨エアー流量計を確認しながら、エアーの流量を 3～5 L/min で調整して下さい。
 - ・⑨エアーの流量計からエアーを吸い込まない場合は、⑪流量調整弁を少しずつ調整してエアーが吸い込む位置まで、⑭の圧力を適正位置まで流量を調整して下さい。
- 注⑪流量調整弁はハンドルを外して⑬制御盤内にあります。必要以外は触らないで下さい。**
- ・浴槽に設置されているノズルユニットは、試運転時は配管内のゴミが詰まる可能性があります。必ず運転を停止してから、ノズル内部の確認と清掃をして下さい。

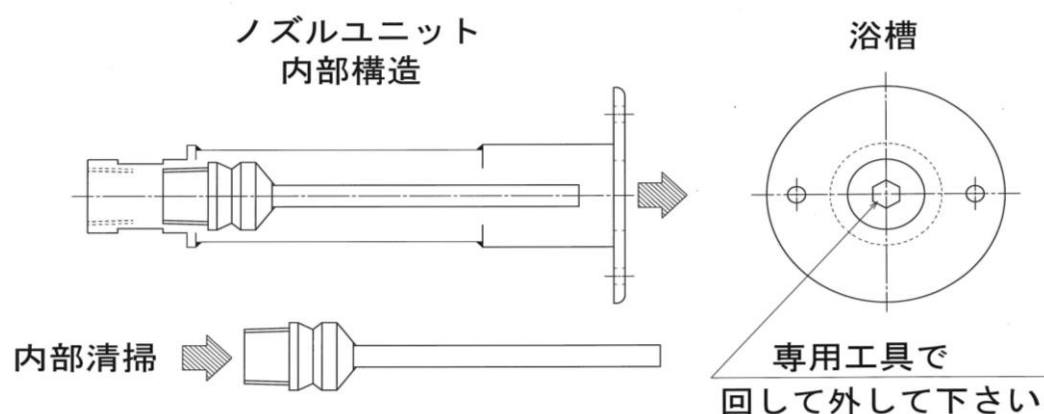
専用制御盤の計器の設定と運転方法

- ⑬専用制御盤の外側の加圧ポンプのスイッチは“切り”になっている事を確認する、⑬専用制御盤の内部ある漏電ブレーカーは“入”に、エアー電動弁は“自動”になっている事を確認して下さい。
- ⑬専用制御盤の外側の盤面の加圧ポンプスイッチを“自動”にすると運転が始まります。出荷時の設定ではポンプが運転後に、エアー電動弁が自動で開くまでの設定を 20 秒に設定をしています。ポンプ運転後の 20 秒後にエアーが自動にはいりますので、⑨エアー流量計で流量を 3～5 L/min の範囲で調整をします。エアー量は浴槽の状況を見て判断をして下さい。

運転開始時の確認

- ・運転を開始後に、④圧力計を確認して吐出圧力が 7.5kg/cm² 以下で運転をしているかの確認をして下さい。
- ・7.5kg/cm² 以上の圧力が上がった場合は、直ぐに加圧ポンプのスイッチを切ってから、バルブの開け忘れがないかの確認をしてから、もう一度運転を開始して下さい。
- ・必要以上に圧力が上がった場合は⑤リリース弁が 8～9kg/cm² で圧力を逃しますが、正常運転ではありませんので、ポンプを停止後にバルブの確認と浴槽のノズルユニット内にゴミ詰まりがないか確認して下さい。

ノズル清掃方法



①浴槽内ノズル確認



②専用工具でノズルを反時計方向に回す



③内部ノズルを引き出す



④ノズル穴を確認、清掃をする



浴槽に設置されているノズルユニットから、内部のノズルを専用のソケットレンチで取り外して、図の内部清掃部分にゴミや詰りがないか確認、清掃をお願い致します。

清掃後、ノズルの取り付けは固く締め付けないで下さい。
ステンレスが焼き付いてしまい、ノズルの取り外しが出来なくなります。

清掃の頻度

・1回/月を基本として、ノズルにある穴のチェックを兼ねた清掃をお願いします。
※穴の詰まりによる不具合が頻発する場合は、清掃頻度を変更してください。

インバータの設定方法（緊急時以外は触らないで下さい）



- ・誤って変更した場合は、出荷時の設定は以下の表を参考にして下さい。
- ・**MODE** を押すと“P.”が表示され“P.”の画面でダイヤルを回すとパラメータ番号を選択できますので、変更したいパラメータ番号で**SET**を押して設定値が表示されるとダイヤルで変更が可能になります。変更後、もう一度**SET**を押すと設定完了します。

パラメータ番号	名称	出荷時設定値	用途
P. 1	上限周波数	60Hz	出力周波数の上限を設ける場合。
P. 4	3速設定	50Hz	運転速度をパラメータで設定する場合。
P. 9	電子サーマル	9/15A	モータの定格電流を設定する。
P. 56	電流モニタ基準	14A	インバータ定格電流。
P. 79	運転モード選択	3	外部/PU運転モード
P. 80	モータ容量	3.7kW	ポンプ容量
P. 160	拡張機能表示選択	9999	シンプルモード設定。0で拡張モードが追加。
P. 192	ABC端子機能選択	99	
P. 557	出力基準電流	14A	インバータ定格電流

トラブル時の対応

症状	原因	処置
1 浴槽が白くならない。	1-1 バルブが閉まっている。 1-2 ノズルユニットにゴミが詰まっている。 1-3 エアーが入っていない。	③と⑧のバルブの確認。 浴槽ノズルユニットの清掃。 ⑨エアークロームの流量を確認。 エアークロームが吸わない場合は⑩が適正圧力かを確認して⑪で圧力調整。
2 リリーフ弁から水が出る。	2-1 ポンプ圧力の上昇。	⑧ポンプ出口側のバルブが開になっているか確認して下さい。 浴槽ノズルユニットにゴミが詰まっているか確認して下さい。
3 ポンプが運転しない。	3-1 制御盤内のブレーカーが入っていない。 3-2 濾過機が運転をしていない。	⑤制御盤内の漏電ブレーカーを入れてから、外側の加圧ポンプを自動にして下さい。 ⑥濾過機と連動して運転をしますので、濾過機が運転をしているか確認をして下さい。